



風っ子・環境キャンペーン

高崎市

猛暑で成長ストップ キュウリのカーテン

高崎市立高松中学校



グリーンカーテンの世話をしている緑化委員。日陰になる時間が長い写真の右側だけ成長具合がよいことがわかります

全国的な猛暑となった今年の夏。グリーンカーテンにとっても厳しい環境でした。高崎市立高松中学校（高松）の回数を増やしたり、夏休み

中は部活に来た生徒たちが積極的に水をあげたりとみんなで力を合わせましたが、いつものようなカーテンにならないようです。

同校がグリーンカーテンを作り始めたのは10年ほど前。当時の保護者が寄付をしてくれたアサガオがきっかけでした。その後、いろいろな植物にチャレンジし、最近では生徒たちの関心が高まるよう、ゴーヤやパッションフルーツなど実のなる植物を利用するようになりました。

この2年はキュウリ。今年は5月の2週目に12のプランターに24本の苗を植えました。最初のうちはぐんぐん成長し、6月には30本以上の実を収穫しました。ところが、梅雨明けを待たずに真夏の暑さがやってくると成長スピードは急激に落ちて、せっかくだきても曲がった実になってしまいました。逆に面白い発見もありました。日陰になる時間が長い場所の方が、日なたより茎が高くなったのです。植物の成長は、日当たり



水をあげるときは、プランターの下から流れ出るくらいたっぷり

が良ければいい、というものはなさそうです。

委員長の斉藤未来さん（3年）は「緑があるだけで涼しく感じます」と安部莉彩さん（2年）は「植物を育てることで心が豊かになる気がします」と笑顔で話します。

グリーンカーテンは、環境以外のうれしい効果も生んでいるようです。

風っ子・環境キャンペーンを応援します

高崎市立高松中学校

とね ぎよしふみ
波根木好文校長 486人
たかさき たかまつ
高崎市高松町5番地3
TEL:027-322-3853
そうりつ
創立/1987(昭和62)年
http://swa.city.takasaki.gunma.jp/takamatsu_chu/

ひりゅうさい
秋に開く「飛龍祭」では、3年生が琴やお茶など日本の伝統文化を発表。この日のために、外部講師を招いて練習に励んでいます。



キュウリも暑すぎるのは苦手なんだね

群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」許諾第29-110989号

身近にできるエコ活動

電車やバス(公共交通)に乗ってみよう!

みなさんは、1年に何回電車やバスに乗りますか？ 車社会の群馬県では、ついつい車に乗ってしまいます。でかける時、時間に余裕があったら、電車やバスを利用してみましょう。例えば、あなたの家の近くのバス停はどこかな？ そのバスでどこに行けるかな？ 時刻表はどうなっているかな？ 日ごろからチェックしておく、利用しやすくなります。公共交通を使うと、二酸化炭素(地球温暖化の大きな原因)の排出量が削減できます。

群馬県環境アドバイザー 梅山さやか